

第1回 国際歯周内科学研究会 秋季カンファレンスのご案内

定員 90名

期日 2009年10月11日(日)

会場 KFC 115room



代表理事 生田 函南

特別講演 小峰 一雄 先生 (医療法人小峰歯科医院理事長)
「歯科における免疫療法」
—歯周治療の補助に免疫療法—

スケジュール

10:30	開場
11:00~12:30	開会 午前講演
12:30~14:00	昼食 (当日の昼食は各自でとっていただきます。)
14:00~15:30	午後講演
15:30~16:00	質疑応答 連絡事項 閉会

代表理事あいさつ

第1回秋季カンファレンス開催に当たって

一般社団法人 国際歯周内科学研究会 代表理事 生田 図南

温暖化の影響で大変暑い日々が続いておりますが、研究会の会員の先生方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

有限責任中間法人 国際歯周内科学研究会は一般社団法人として活動をさらに強化しております。4月の総会の折にアナウンスを行いましたように、研究会の認定医制度構築に向けて準備を進めています。これは、歯周内科治療が広く国民に認知され始めているということから、聞きかじりで顕微鏡による確認も行わず安易に投薬を行うような歯科医師がでてくる可能性があることが懸念されるために、確実に治療を行うことができる歯科医院を国民に告知するという目的のために開始いたします。

また、多くの学会が年に一度ではなく地方会を含めて半期ごとの総会・カンファレンスを行っていることを考慮し、一般社団法人国際歯周内科学研究会におきましても、春の総会のみではなく、秋のカンファレンスを開始することになりました。

過去の総会における特別講演は大学教授を中心に講演を行っていただいておりますが、秋季のカンファレンスは歯周内科治療に関連した内容で、特に臨床医で高名かつ実績のある現役臨床歯科医師を中心に講師選択を行い、会員の先生方の臨床に即、有益な結果をもたらすであろうと思われる講演を開催していく予定です。

今回の秋季カンファレンスでは、埼玉県で御開業の小峰一雄先生に講師をお願いいたしました。小峰一雄先生は歯周病治療の中で特に難しい症例に対して、免疫療法を行い素晴らしい治療効果をあげていらっしゃいます。薬剤を使用することができない患者さんや、歯周内科治療を行い反応の少ない患者さんは臨床的に非常に免疫力が低い様子が見受けられます。そのような患者さんに対応するにはどのようにしたらいいのか、非常に悩むことが多いのが実情です。

小峰一雄先生の御講演によりそのヒントを得ることができるのではと理事一同非常に期待しております。多くの会員の先生方のご参加をお待ちしております。

事前抄録

タイトル: 歯科における免疫療法 — 歯周治療の補助に免疫療法 —

小峰一雄：医療法人 小峰歯科医院

Key-word：NK細胞活性、体温、点滴療法

演者は総ての歯科疾患において全身の影響を受けていることを訴え続けてきました。例えば体温と歯周ポケットの関係、唾液分泌量と歯周ポケットの関係、薬剤服用と歯周ポケットの関係等を発表してきました。これらの結果からも全身の影響を受けていることが十分に伺えます。従いまして、これらを改善することは歯周病治療の補助療法になると考えられます。

既に歯周病患者の全身管理を始めて十年近くになります。これらの普及のために日本歯科免疫療法研究会を立ち上げ、歯科医のみならず多くの普通医（特に内科医）も参加いただいております。今回、タイムリーに「日本臨床歯周病学会会誌 Vol.26 2008」が発刊、我々の考え方を後押しする論文が掲載されていたのでした。

演者の考え方としては、例えば歯周病において炎症が無くなり治癒しても真の治癒ではないと考えるのです。理由として彼らは徹底した口腔ケアを生涯続けなければならないのです。そこで免疫力を上げることができれば一般人（健康な方）と同じ生活ができ、初めて治癒と自覚できるのではないのでしょうか？

そこで今回、小峰歯科医院で実践している免疫力を上昇させる治療法についてご紹介したいと思います。

当医院においては「食事アンケート」調査を実施しております。その結果、歯周病患者・多数歯カリエス・健康者では全く食生活が異なることを発見しております。これらの分析・指導をして免疫力アップをファーストチョイスしております。

次に患者の体温測定や血液検査（NK細胞活性）をして免疫力を測定しております。体温上昇＝NK細胞活性も証明されておりますので、生活指導・食事指導・サプリメント療法・RF療法（新潟大学安保徹教授がNK活性上昇を発表）・点滴療法（局所・全身への高活性NK細胞・高濃度ビタミンC・その他）を実施して免疫力を上昇させております。このNK細胞とは患者から採取したもので高活性のNK細胞を数千単位に分離培養して点滴で患者に戻す方法でガン治療そのものです。従いまして、ガン予防効果も期待できるのです。こうした新しい治療法をご紹介させていただきます。

[略歴]

歯学博士
明海大学講師
日本歯科免疫療法研究会 元会長
Kデンチャー研究会 主宰
日本抗加齢医学会認定医（専門医）
日本歯周病学会
日本臨床歯周病学会
日本臨床歯内療法学会
日本口腔診断学会
国際口臭治療学会
ICD（国際歯科学士会）フェロー
AAP会員

[執筆]

「細菌を知る・エンドが変わる共著 永末書店、
「歯周病・新しい治療を求めて共著 先端医療
研究所、「How do you do? 高周波治療」Dental
Frontier QA デンタルダイヤモンド、「予防と
歯科医院経営」歯科医療 第一歯科出版、「位相
差顕微鏡」器材からみるオーラルケア ヒョー
ロン社、「次世代型入れ歯」わかさ わかさ出版、
「歯科における免疫療法の可能性を求めて」日
本歯科評論 1 2 No758、「高周波治療器CM-
009Cの応用法」Dental Review 6 No692、「高周波治療器・特徴と応用」共
著 歯内療法のインデザイン デンタルダイヤ
モンド、その他多数

会場案内

KFC 115room

お問い合わせ 〒130-0015 東京都墨田区横網一丁目6番1号

電話 03—5610—5801

http://www.tokyo-kfc.co.jp/HALL_top.html

●電車でのご利用

[地下鉄]

都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1 出入口に直結。

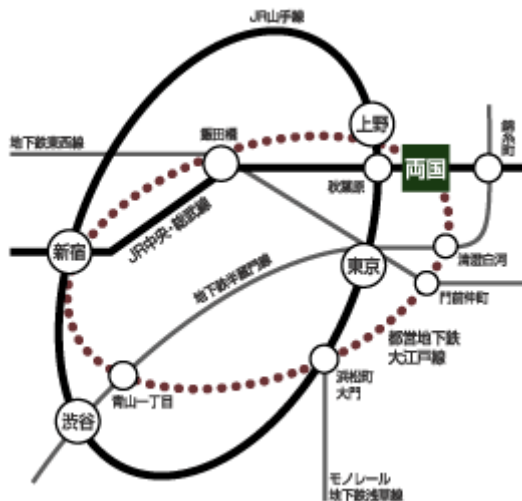
[JR]

JR 中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約 6 分。

東口改札より線路沿いを千葉方面へ向かい、突き当たり大通りを左折しガードをくぐり、約 200m 先左手 25 階建てビル。

JR 中央・総武線「両国駅」西口より徒歩約 7 分。

西口改札より両国国技館と江戸東京博物館の間の歩行者用通路に沿って、突き当たりを右折。両国中学校と江戸東京博物館の間のレンガ道を進み大通りを左折し、約 50m 先左手 25 階建てビル。



参加案内 重要

本カンファレンスは ISIMP 会員、生田セミナー受講者で、事前登録いただいた方のみ当日ご参加いただけます。事前登録の方法は、下記申し込み用紙を **092-441-4534** に FAX していただき、下記口座に登録料をお振り込みください。入金確認をもって本登録とさせていただきます。

本登録の方には 10 月初旬に登録票などを郵送させていただきます。

振り込み手数料につきましては、申し訳ありませんがご自身のご負担でお願い申し上げます。ご入金を確認できませんと本登録にはなりませんのでくれぐれもご注意ください。

尚、ご入金後の返金には応じかねますので、あらかじめご了承下さい。

参加費用

国際歯周内科学研究会会員 10000 円

会員以外生田セミナー受講者 20000 円

振込先 福岡銀行 ちくしどおり 筑紫通支店 普通口座 1412926

国際歯周内科学研究会 会長 いくたとなみ 生田 函南

※お振込みの際、会員の方は会員番号をはじめにつけていただくようお願いいたします。

以下を FAX してください。返信 FAX 番号 092-441-4534

—————キリトリ—————

国際歯周内科学研究会 第 1 回秋季カンファレンス申し込み用紙
会員 (No) 非会員

フリガナ

お名前

歯科医院名

歯科医院 住所 〒

お電話番号

FAX 番号

スタッフの参加の有無 有 ・ 無

参加されるスタッフ様のお名前 _____